



学校だより

平成30年1月9日

横浜市立豊田小学校

1月号

豊田小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/toyoda/>

本当に好きなこと

校長 瀬尾芳保

明けましておめでとうございます。昨年中は本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。本年もどうぞよろしく願いたします。

学校行事の代休と祝日の関係から17日間あった冬休みが終わり、子どもたちが元気に登校してきました。年末年始を家庭で過ごし、新しい年にそれぞれの希望をもってスタートしたことを思います。

さて、冬休み中に「バッタを倒しにアフリカへ」という本を読みました。作者は、前野ウルト 浩太郎という、大発生するとサハラ砂漠の周辺で農作物に大きな被害をもたらす昆虫(サバクトビバッタ)の研究者です。幼い頃から虫が大好きで、その研究のために大学、大学院と勉強を続け、自分の専門としているバッタの研究をアフリカで苦しむ人たちのために役立てようと単身モーリタニアに向かいます。現地の研究所に所属しながら砂漠で大発生するバッタの生態を観察し、駆除に役立つ研究成果をあげようと、多くの人と協力して活動する様子が描かれた内容に、ワクワクする気持ちを感じながら読み進めました。

昨年末に話題となったプロ野球の大谷翔平選手のように、これまでは海外で活躍するス

ポーツ選手が大きく取り上げられることはありませんでした。

しかし、この本を読んで知った、虫が本当に好きな少年が大人になり、好きなことの研究で国際貢献しているという生き方に大変感銘を受けました。

日本には同じようにプロフエツショナルとしての仕事を通じて国内だけでなく、外国の人たちの役に立っている人がたくさんいるのだと思います。また、一方では博士号を得て論文を発表していても、安定した身分で仕事として研究を続けていくことの難しさも描かれており、時に話題になる「ポストク」問題の厳しさも感じるものでした。

新年を迎えて子どもたちは「将来の夢」や、「今年の目標」を考えていると思います。その中に本当に好きなことをずっと追い求めていくと、自分だけでなく広い世界の多くの人の役に立てるチャンスがあることを知って欲しいと思います。

また、そんな子どもたちの夢をずっと応援していきたいと思っています。



工藤直子	のはらうたⅢ	より
いっしよに		
のぞくみちこ		
ここで、	やさんで	いきませんか
すこし	おはなし	しませんか
きのうみた	ゆめのはなし	や
あしたの	おてんきのこと	
かぜの	はしるすがた	や
ひかりの	こぼれぐあいについて	
そして		
あなたが	どこからきて	
どこへいくのか	なども...	
ゆっくりゆっくり		
うなずきあって		
しばらくいっしよに		
すこし	ませんか	